

取扱説明書

フルハイビジョン液晶ディスプレイ (業務用)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

商標について

VGA、XGA、SXGA は米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Macintosh は米国 Apple Inc. 社の登録商標です。

HDMI、HDMI ロゴ、および High Definition Multimedia Interface は、米国および他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

もくじ

安全上のご注意	3	ウェブブラウザコントロールの使用	22
お手入れ／上手な使いかた	7	ウェブブラウザコントロールを使用する前に	22
付属品の確認	8	ウェブブラウザからのアクセス	23
付属品	8	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー	24
別売オプション	8	OSD メニューへ入る	24
VESA の取り付け	9	OSD メニューの概要	24
設置または移動するときの注意	9	映像設定メニュー	24
各部の機能	10	TILING	28
コントロールパネル	10	パワーセーブ	28
入出力端子	11	スクリーンセーバー	29
接続	12	入力モード	31
電源コード接続	12	修理を依頼される前に	32
ケーブルの固定	12	保証とアフターサービス	
DVD プレーヤーなどの接続	13	(よくお読みください)	34
PC 接続	15	仕様	35
外部音声接続	17		
シリアル端子接続	18		
デジチェーン接続	19		
ネットワーク機能の使用	20		
ネットワーク接続	20		
ネットワーク接続向け OSD メニュー設定	21		

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



気をつけていただく内容です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

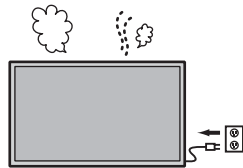
異常が発生したときはすぐに使用をやめてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となりますので、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。

- 故障(画面が映らない、音が出ないなど)や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く！
電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントを使用ください



電源プラグ
を抜く

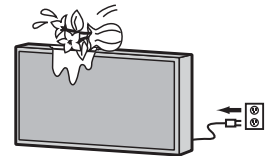


煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、おやめください。

- 内部に異物や水などの液体が入ったり、本機を落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く！



電源プラグ
を抜く



- 異物を入れないでください



禁止



通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。

- 壁掛け工事や天吊り工事は、工事専門業者にご依頼ください



- 壁への取り付けには VESA 規格標準の壁掛け金具 (VESA 400×400) を必ず使用してください。

● 表紙および 3 ページ以降のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

電源コードについて

- クラスⅠ構造の本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください。



- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



火災や感電の原因となります。

禁止

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



ぬれ手禁止

感電の原因となります。



- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V 以外では使用しないでください



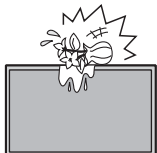
たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

禁止

- 上に水などの液体の入った容器を置かないでください



水ぬれ禁止



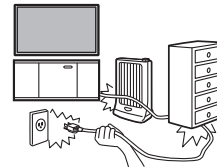
水などの液体がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください



禁止



傷つけたり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったりすると芯線の露出、ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

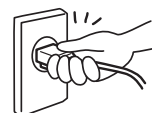
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き3芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

- ぬらしたりしないでください



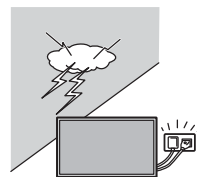
水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

- 雷が鳴りだしたら本機には触れないでください



接触禁止



感電の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

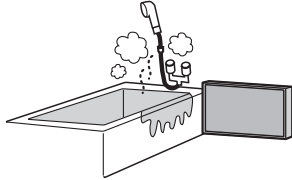
警告

- 風呂場、シャワー室では使用しないでください



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

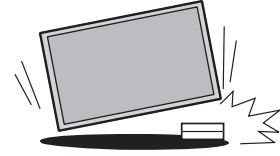


- 不安定な場所に置かないでください



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。



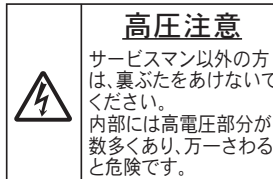
- 裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造したりしないでください



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



高圧注意

サービスマン以外の方は、裏ぶたをあげないでください。
内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

注意

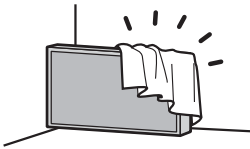
- 本機の通風孔をふさがないでください



禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがありますので次の点にご注意ください。

- このディスプレイの最外周は、上下左右10 cm 以上の間隔をおいて据えつけてください。後面は5 cm 以上の間隔をおいて据えつけてください。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。



- 本機に乗ったり、ぶらさがったりしないでください



禁止

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、小さなお子様にはご注意ください。



- 本機に脚立を立てかけるなどしないでください



禁止

落下してけがの原因となることがあります。

- 上に物を置かないでください



禁止

倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

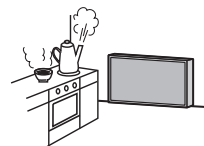


- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かないでください



禁止

調理台や加湿器のそばなど火災・感電の原因となることがあります。

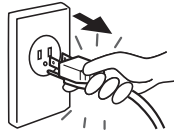


安全上のご注意

必ずお守りください

⚠️ 注意

- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください



コードを引っばると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、接続線ははずしてください



コードや本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグや機器間の接続線や転倒防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください。
- 本機に衝撃を与えないでください。

- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされますと、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

- 強い力や衝撃を加えないでください



禁止

液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。

お手入れについて

- 1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまのまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気が多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

- 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

- 開梱や持ち運びは2人以上で行ってください
- 運搬や移動をする場合は、指定した個所を保持して行ってください



落下してけがの原因になることがあります。

- 接続ケーブルを引っばったり、ひっかけたりしないでください



禁止

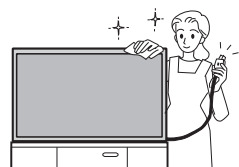
倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグを抜く



感電の原因となることがあります。

お手入れ／上手な使いかた

■ 設置されるとき

本機の設置については、下記の事項をお守りください。

- **機器相互の干渉に注意してください。**
電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけて設置してください。
- **機器の接続は電源を「切」にして行ってください。**
各機器の説明書に従って、接続してください。
- **振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。**
本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- **本機の質量に耐えられる場所に設置してください。**
指定の取り付けユニットをご使用ください。
- **高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。**
高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。
- **直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。**
キャビネットの変形や故障の原因となります。
- **本機を移動されるとき。**
ディスプレイパネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

■ ご使用になるとき

- **本機は残像が発生することがあります。**
静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。
- **画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。**
液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.9%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。
- **液晶パネル表面について**
液晶パネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。
傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

- **適度の音量で隣近所への配慮を**
特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。
- **ディスプレイ本体の一部が熱くなることがあります。**
前面パネル、天面、背面の一部は温度が高くなっておりますが、性能・品質には問題ありません。
- **長時間ご使用にならないときは**
電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- **キャビネットや液晶パネル表面の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく**
 - ・ひどい汚れやディスプレイパネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で100倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
 - ・水滴が内部に入ると故障の原因になります。
- **お知らせ** 液晶パネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。
- **化学ぞうきんのご使用について**
 - ・液晶パネルの表面には使用しないでください。
 - ・キャビネットにご使用の際はその注意書に従ってください。



- **殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない**
キャビネットの変質や塗装がはがれます。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。

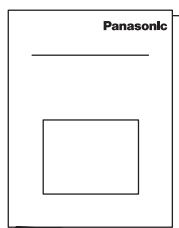
付属品の確認

付属品

付属品が入っていることをご確認ください。



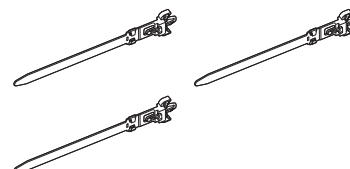
取扱説明書



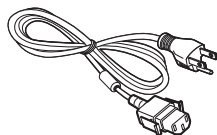
保証書



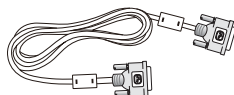
クランパー



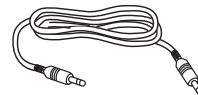
電源コード



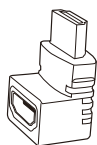
DVI ケーブル



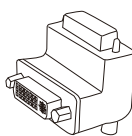
リモコン用接続ケーブル



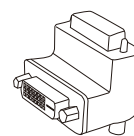
HDMI 用 L 型コネクタ



DVI-I 用 L 型コネクタ



DVI-D 用 L 型コネクタ



注意：

- ・ リモコンは付属していません。
- ・ L 型のコネクタは、DVI および HDMI の配線の際に、下方の空間に余裕がない場合に使用してください。

別売オプション

- ・ リモコンキット：TY-RM50VW
- ・ カバーフレームキット：TY-CF47VW5

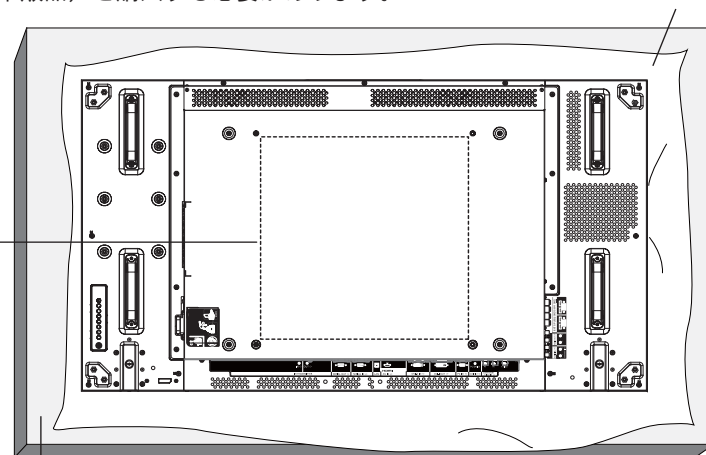
VESA の取り付け

壁に本製品を取り付けるには、標準の壁取り付けキット（市販品）を購入する必要があります。

保護シート

1. 梱包時に本製品を覆っていた保護シートをテーブル上に敷き、画面表面に傷が付かないように画面表面を下にします。
2. 本製品を取り付けるため（壁掛け、天上取り付けなど）のすべての付属品があることを確認してください。
3. 壁取り付けキットに同梱の説明書に従ってください。正しい取り付け手順に従わない場合、装置の損傷、またはユーザーや取り付け作業者のけがにつながります。不適切な取り付けが原因の破損は、製品保証範囲に含まれません。
4. 壁取り付けキットには、M6 取り付けねじ（取り付けブラケットの厚さより 10 mm 以上長いもの）を使用し、しっかりと締め付けてください。

VESA
グリッド



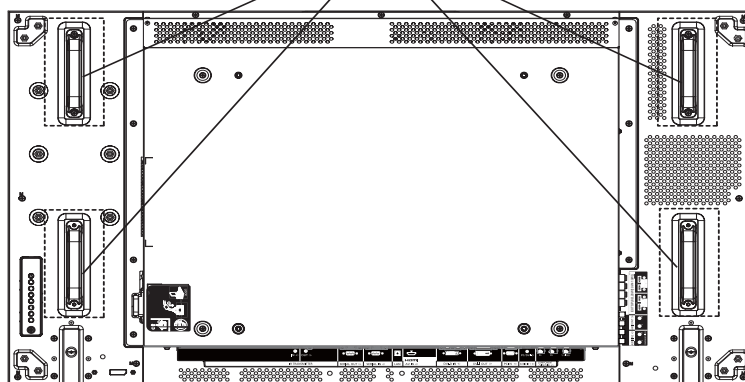
テーブル

設置または移動するときの注意

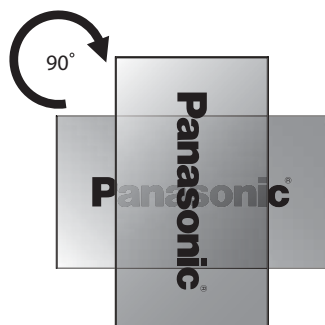
本製品の落下を防止するために：

- 本製品を移動させる際は、取っ手を持ちます。
- 取っ手以外の場所を持たないでください。
- 本製品を移動する際は、丁寧に、2人以上で持つようにします。本製品は不注意から壊れやすいことを念頭に置いてください。
- 本製品を壁または天井へ設置する場合は、市販の金属製ブラケットを使用して設置することを推奨します。設置の詳細説明については、それぞれのブラケットに付属の説明書を参照してください。
- 地震やその他天災が起きた際に、本製品の落下によるけがや破損の可能性を下げるため、設置場所については必ずブラケットメーカーに相談してください。
- 縦置きする場合には、本製品を右に回転させます。

取っ手



ディスプレイをマルチで設置する場合、電源 OFF の状態で、各ディスプレイの間に 0.5mm の間を設けてください。

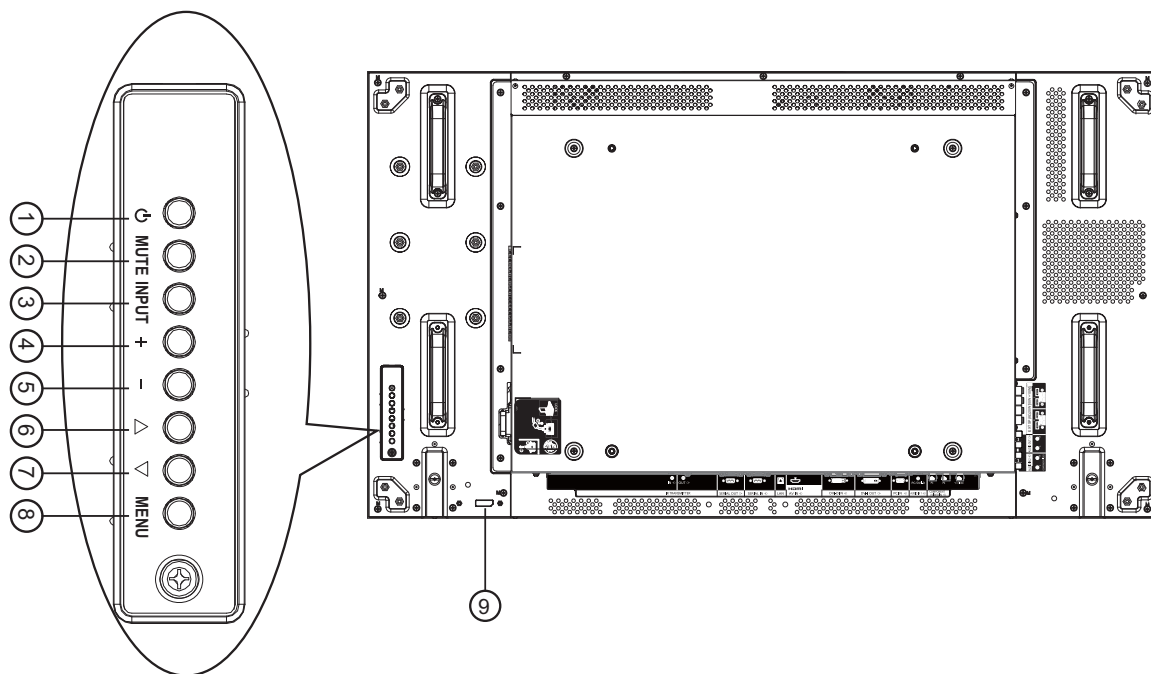


注意：

- 左に回転させて使用しないでください。

各部の機能

コントロールパネル



① 電源ボタン

ディスプレイの電源を入れたり、スタンバイにするときに使用します。

② MUTE (ミュート) ボタン

音声のミュート ON/OFF を切り替えます。

③ INPUT (入力) ボタン

入力ソースを選択するのに使用します。

- ・ オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューが ON の時には [SET (決定)] ボタンとして使用します。

④ [+] ボタン

OSD メニューが ON の時には調整を上げ、OSD メニューが OFF のときには、音声出力レベルを上げます。

⑤ [-] ボタン

OSD メニューが ON のときには調整を下げ、OSD メニューが OFF のときには音声出力レベルを下げます。

⑥ [▲] ボタン

OSD メニューが ON のとき、調整したいアイテムを選択するにはハイライトバーを上げます。

⑦ [▼] ボタン

OSD メニューが ON のとき、調整したいアイテムを選択するにはハイライトバーを下げます。

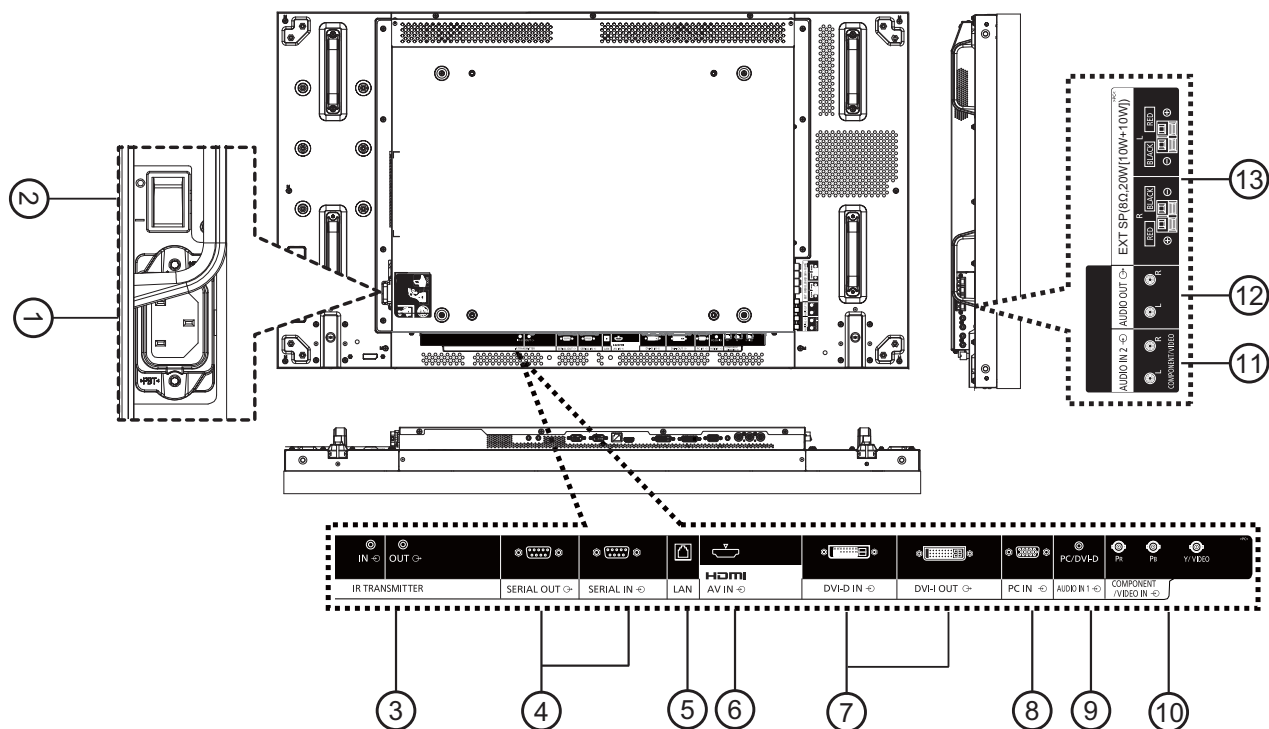
⑧ MENU(メニュー) ボタン

OSD メニューが OFF の場合にこのボタンを押すと OSD メニューがアクティブになります。OSD メニューが ON のときに押すと前のメニューに戻ります。

⑨ リモコンセンサーと電源状態インジケータ

- ・ リモコンからの指令信号を受信します。
- ・ 本製品の動作状態を表示します：
 - 本製品の電源が ON のとき緑色点灯する
 - 本製品がスタンバイモードのとき赤色点灯する
 - ディスプレイが「パワーセーブ」モードに移行する際、赤色と緑色に点灯します
 - {スケジュール} が有効になっている場合、インジケータランプは緑色に点滅し、その後、赤色に点灯します
 - 赤色点滅の場合は故障の検出を示す
 - 本製品の主電源が OFF の場合消灯する

入出力端子

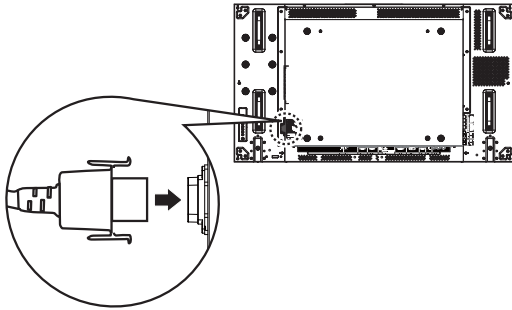


- ① **AC 入力**
コンセントに付属の電源コードを接続します。
- ② **主電源スイッチ**
スイッチを押して主電源を ON/OFF にします。
- ③ **IR TRANSMITTER IN / OUT (IR トランスミッター入力 / 出力)**
リモコン信号受光部の外部接続、および、リモコン信号の有線接続に使用します。
注意: オプションのIR受信機を [IR TRANSMITTER IN] (IR トランスミッター入力) に接続すると、本製品のリモコンセンサーは機能を停止します。
- ④ **SERIAL OUT / SERIAL IN (SERIAL 出力 / SERIAL 入力)**
本製品を RS232C 信号で制御する場合、および、信号を出力する場合に使用します。
- ⑤ **LAN**
本製品をネットワーク接続して制御する場合に使用します。
- ⑥ **HDMI AV IN (HDMI AV 入力)**
HDMI ソースの入力です。
- ⑦ **DVI-D IN / DVI-I OUT (DVI-D 入力 / DVI-I 出力)**
デジタルビデオ入 / 出力接続です。
- ⑧ **PC IN (PC 入力)**
PC 入力です。
- ⑨ **AUDIO IN 1 (音声入力 1)**
PC 音声ソース入力 (3.5 mm ステレオフォンジャック) です。
- ⑩ **COMPONENT/VIDEO IN (コンポーネント / VIDEO 入力 (BNC))**
外部 AV 機器からのコンポーネント YPbPr ソース入力です。
VIDEO 入力では、AV 機器のビデオ出力と本製品の Y 入力 (別売りの BNC-RCA アダプターが必要) を接続します。
- ⑪ **AUDIO IN 2 (音声入力 2 (RCA))**
外部 AV 機器からの音声ソース入力です。
- ⑫ **AUDIO OUT (音声出力 (RCA))**
音声入力ジャックからの音声ソース出力を外部 AV 機器に接続します。
- ⑬ **SPEAKER OUT R/L (スピーカー出力 R/L) -> EXT SP (外部スピーカー) (8 Ω)**
音声を外部スピーカーに出力します。

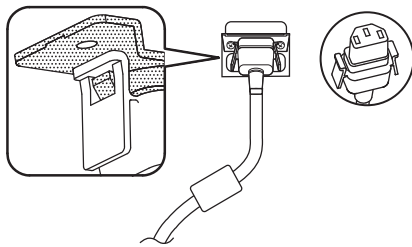
接続

電源コード接続

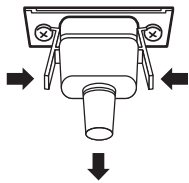
1. 電源コードを本製品に差し込みます。



2. カチッと音がしてはまるまで、電源コードをしっかりと差し込みます。電源コードは左右両側がロックされていることを確認してください。



3. 電源コードを抜くには、2つのノブを押してから引っ張ります。



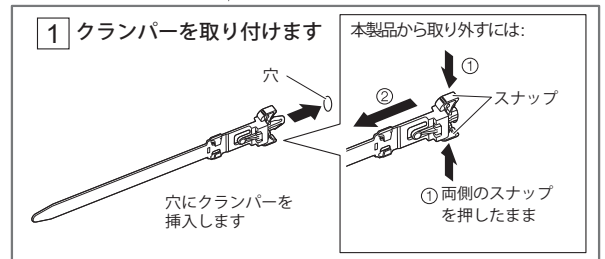
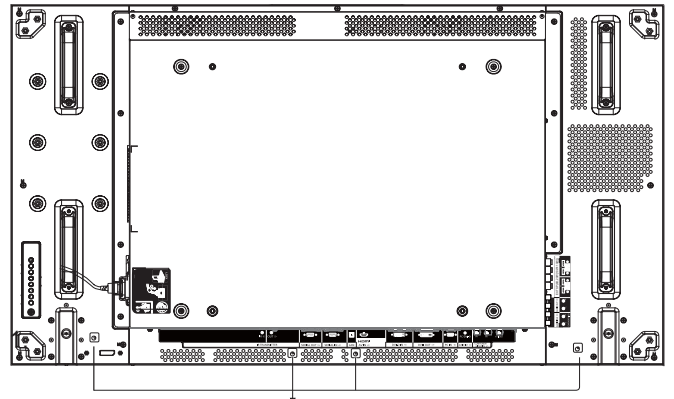
注意：

- 電源コードを抜く際は、必ず先にコンセントの電源コードプラグを抜いてください。

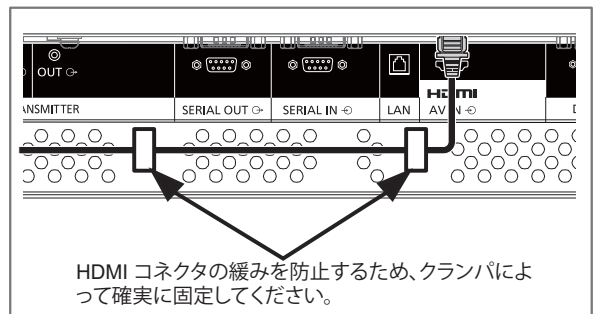
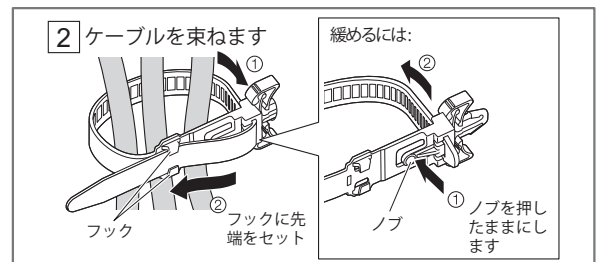
ケーブルの固定

- 3箇所ケーブルを固定するため、3個のクランパーが付属しています。

1. クランパーを取り付けます。

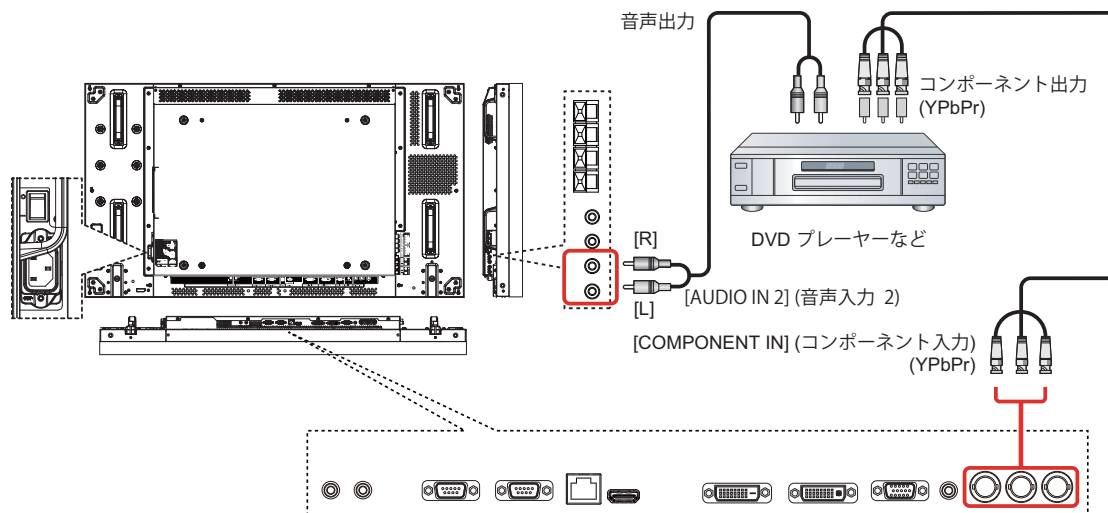


2. ケーブルを束ねます。

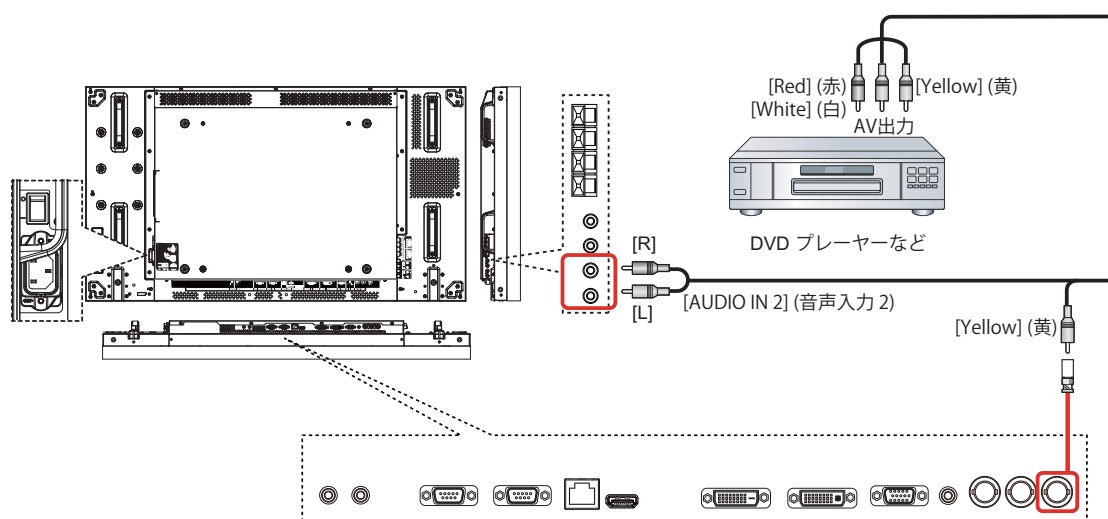


DVD プレーヤーなどの接続

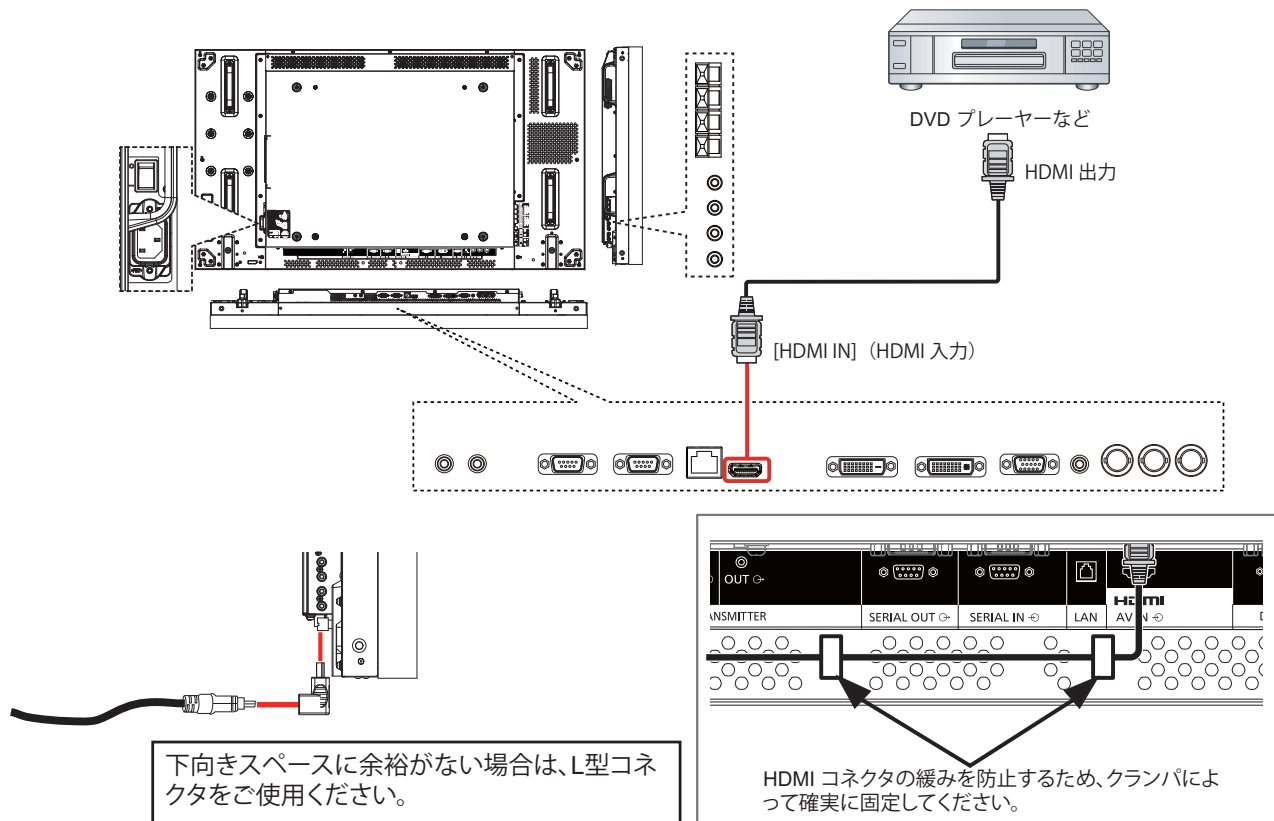
コンポーネント入力の使用



ビデオ入力の使用



HDMI ビデオ入力の使用

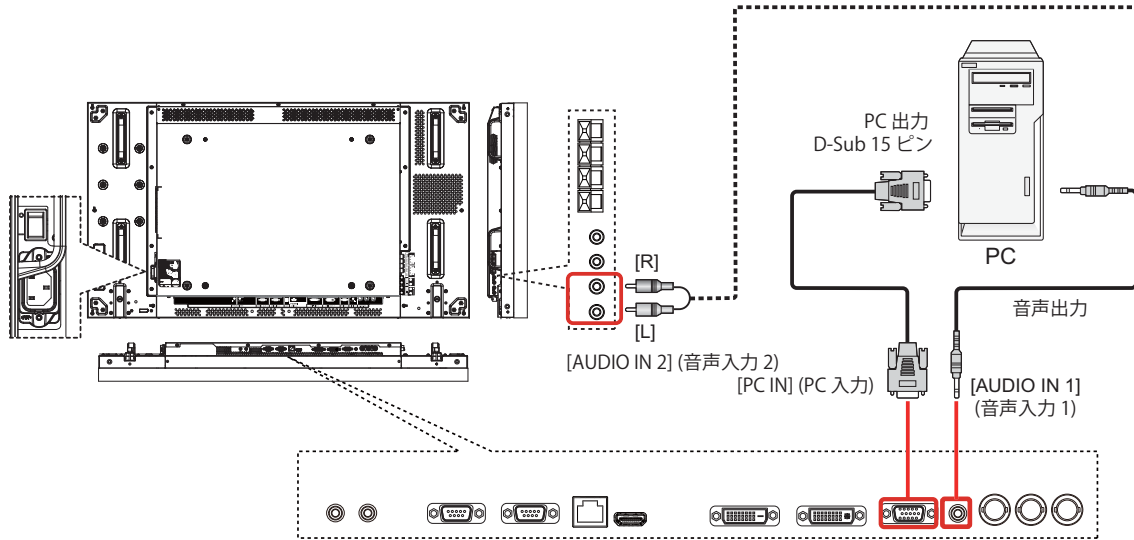


ピンの割り当てと HDMI 端子の信号名：

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	T.M.D.S. データ 2+	11	T.M.D.S. クロックシールド
2	T.M.D.S. データ 2 シールド	12	T.M.D.S. クロック -
3	T.M.D.S. データ 2-	13	CEC
4	T.M.D.S. データ 1+	14	予備 (デバイス非接続)
5	T.M.D.S. データ 1 シールド	15	SCL
6	T.M.D.S. データ 1-	16	SDA
7	T.M.D.S. データ 0+	17	DDC/CEC アース
8	T.M.D.S. データ 0 シールド	18	+5 V DC
9	T.M.D.S. データ 0-	19	ホットプラグ検出
10	T.M.D.S. クロック +		

PC 接続

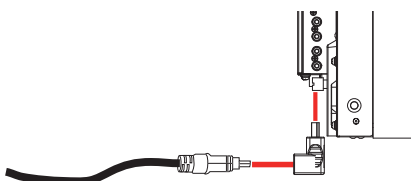
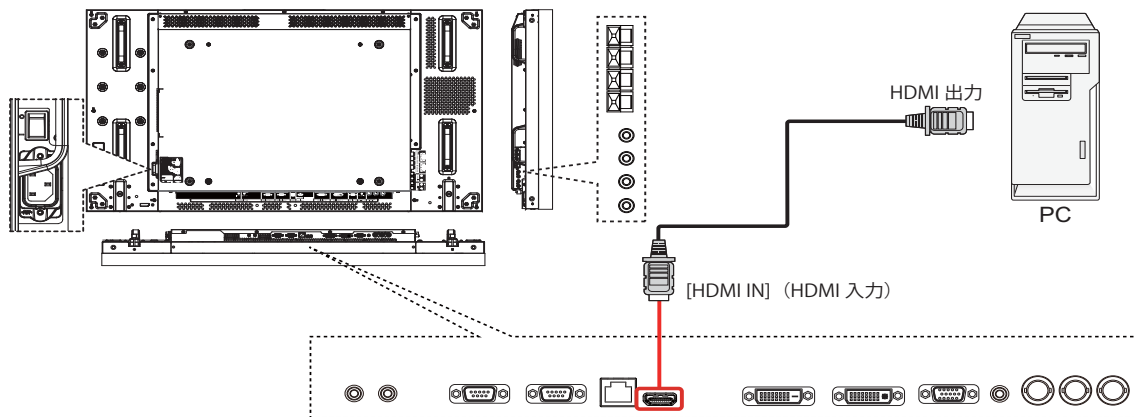
PC 入力の使用



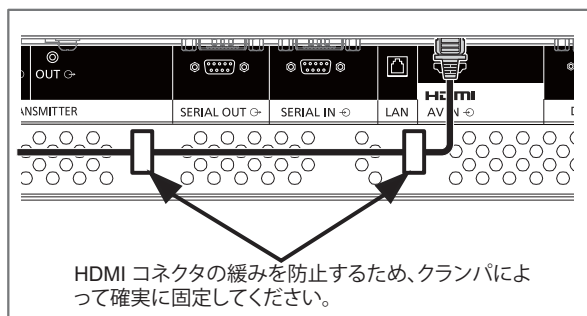
ミニ D-Sub 15 ピンコネクターの信号名

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	R	6	GND (アース)	11	NC (非接続)
2	G	7	GND (アース)	12	SDA
3	B	8	GND (アース)	13	HD/SYNC
4	NC (非接続)	9	+5 V DC	14	VD
5	GND (アース)	10	GND (アース)	15	SCL

HDMI 入力の使用

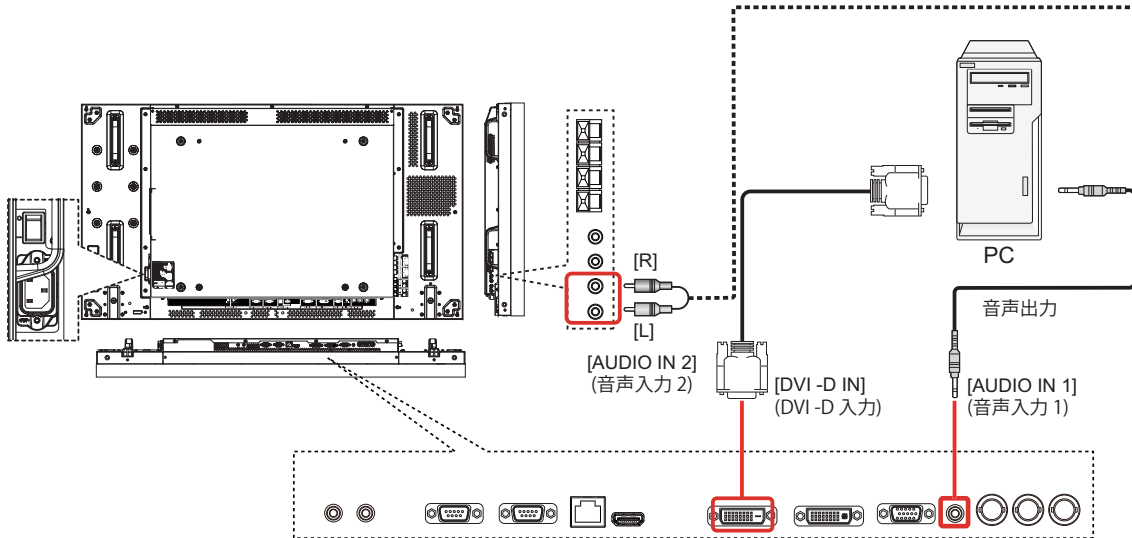


下向きスペースに余裕がない場合は、L型コネクタをご使用ください。



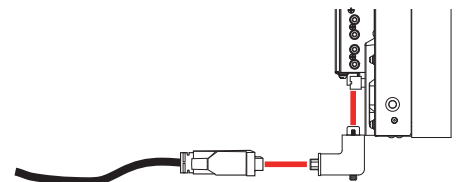
HDMI コネクタの緩みを防止するため、クランプによって確実に固定してください。

DVI 入力の使用



DVI-D 入力コネクタのピン配置：

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	T.M.D.S. データ 2-	13	—
2	T.M.D.S. データ 2+	14	+5 V DC
3	T.M.D.S. データ 2 シールド	15	アース
4	—	16	ホットプラグ検出
5	—	17	T.M.D.S. データ 0-
6	DDC クロック	18	T.M.D.S. データ 0+
7	DDC データ	19	T.M.D.S. データ 0 シールド
8	—	20	—
9	T.M.D.S. データ 1-	21	—
10	T.M.D.S. データ 1+	22	T.M.D.S. クロックシールド
11	T.M.D.S. データ 1 シールド	23	T.M.D.S. クロック +
12	—	24	T.M.D.S. クロック -



下向きスペースに余裕がない場合は、L型コネクタをご使用ください。

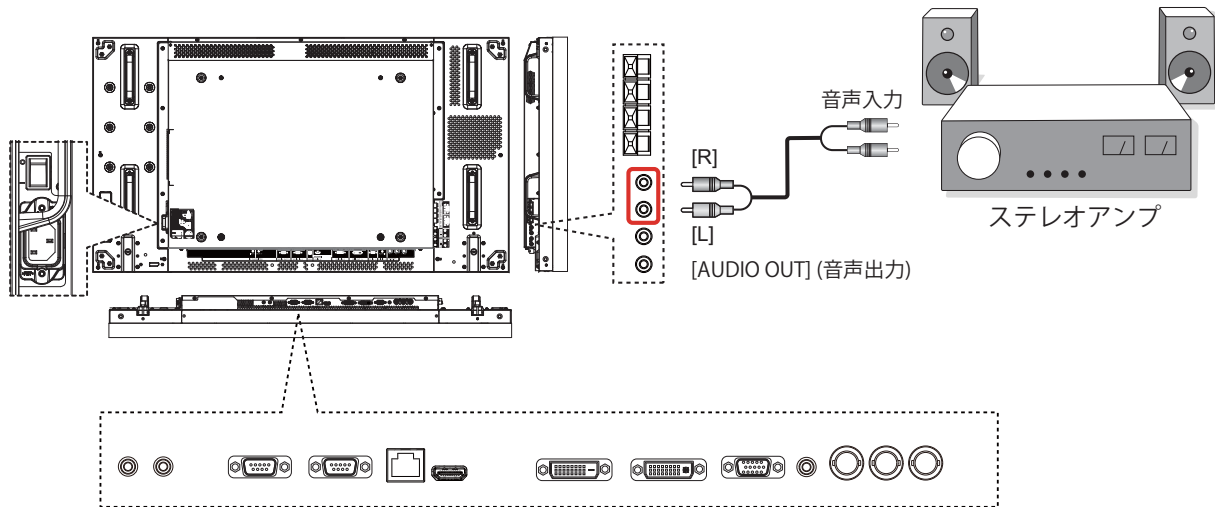
L型コネクタを用いる場合も含めて確実に接続するために、両端のネジを確実に締めてください。ネジが確実に固定されていない場合、デイジーチェーン接続が不安定になる可能性があります。

DVI-I 出力コネクタのピン配置：

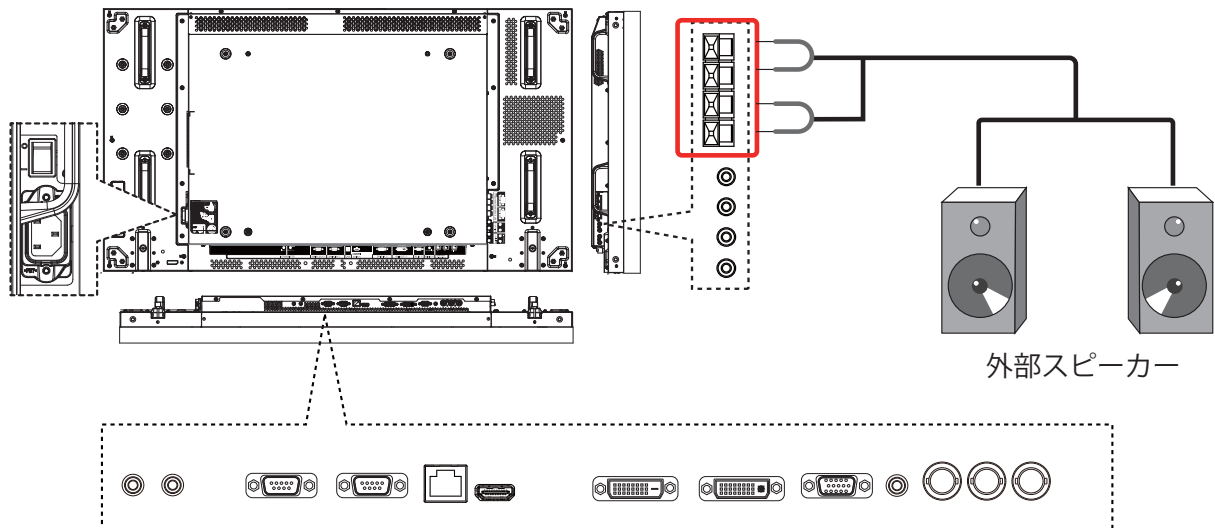
ピン番号	信号名	ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	T.M.D.S. データ 2-	13	—	C1	アナログ赤
2	T.M.D.S. データ 2+	14	+5 V DC	C2	アナログ緑
3	T.M.D.S. データ 2 シールド	15	アース	C3	アナログ青
4	—	16	ホットプラグ検出	C4	アナログ水平同期
5	—	17	T.M.D.S. データ 0-	C5	アナログアース
6	DDC クロック	18	T.M.D.S. データ 0+		
7	DDC データ	19	T.M.D.S. データ 0 シールド		
8	アナログ垂直同期	20	—		
9	T.M.D.S. データ 1-	21	—		
10	T.M.D.S. データ 1+	22	T.M.D.S. クロックシールド		
11	T.M.D.S. データ 1 シールド	23	T.M.D.S. クロック +		
12	—	24	T.M.D.S. クロック -		

外部音声接続

音声出力の使用

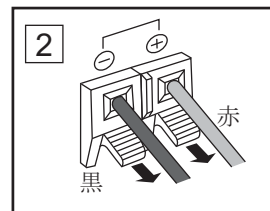
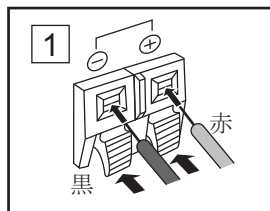


スピーカー出力の使用



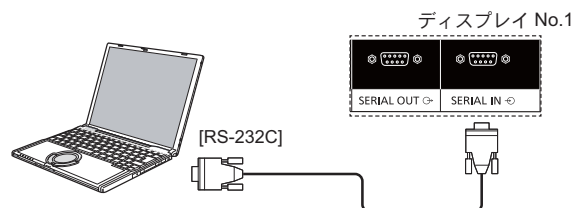
スピーカーケーブルを接続するには：

1. レバーを押しながら、芯線を挿入します。
2. レバーを戻します。



シリアル端子接続

本製品をコンピューターで制御する場合は SERIAL 端子を使用します。



注意：

- RS-232C クロスケーブルを使用して、コンピューターを本製品に接続します。
- ここに示すコンピューターは例示のみを目的としています。
- ここに示す追加の装置およびケーブルはこのセットには付属していません。

SERIAL 端子は RS-232C インタフェースの仕様に準拠しています。したがって、本製品は、この端子に接続されたコンピューターから制御できます。

コンピューターには、以下の条件を満たす制御データの送受信を可能にするソフトウェアが必要となります。プログラミング言語ソフトウェアなどのコンピューターアプリケーションを使用します。詳細についてはコンピューターアプリケーションのマニュアルを参照してください。

制御データの基本形式：

コンピューターからの制御データの伝送は、ヘッダーバイト、コマンド、パラメータ、最後にチェックサムバイトの順番です。パラメータがない場合には、パラメータ信号を送信する必要はありません。

ヘッダー	モニター ID	カテゴリ	コード 0	コード 1	長さ	制御	データ [0]	データ [1]	～	データ [N]	チェックサム
0xA6	0~26	0x00	0x00	0x00	N+3	0x01	コマンド	パラメータ			ヘッダーからデータ [N] までの合計は XOR で計算

注意：

- 複数のコマンドが送信されますので、必ず本製品からの最初のコマンドの応答を待ってから次のコマンドを送信してください。
- 誤って不正なコマンドを送信した場合、本製品からコンピューターに「ERROR」コマンドが返されます。

コマンド：

コマンド	パラメータ	制御詳細
0x19	なし	電源状態の取得
0x18	0x01	電源 OFF
0x18	0x02	電源 ON
0x45	なし	音量取得
0x44	0~100	音量設定
0xAC	0x01, 0x00, 0x00, 0x00	ソースを VIDEO に変更
0xAC	0x03, 0x00, 0x00, 0x00	ソースを DVD/HD に変更
0xAC	0x09, 0x01, 0x00, 0x00	ソースを DVI に変更
0xAC	0x09, 0x00, 0x00, 0x00	ソースを HDMI に変更
0xAC	0x05, 0x00, 0x00, 0x00	ソースを PC に変更
0x3B	なし	映像形式を取得
0x3A	0x00	映像形式をノーマルに変更
0x3A	0x01	映像形式を CUSTOM に変更
0x3A	0x02	映像形式をリアルに変更
0x3A	0x03	映像形式を FULL に変更

SERIAL 入力端子の信号名：

ピン番号	信号名
1	DCD
2	RXD
3	TXD
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	RI

これらの信号名はコンピューターの仕様です。

通信パラメータ：

信号レベル	RS-232C 準拠
同期方法	非同期
ボーレート	9600 bps
パリティ	なし
文字長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
フロー制御	-

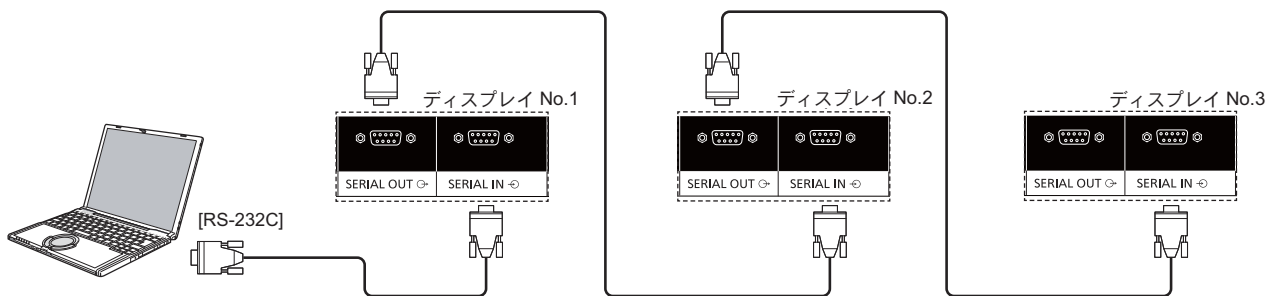
デジチェーン接続

複数のディスプレイを相互接続し、ビデオウォール用途向けのデジチェーン構成を作成することが可能です。

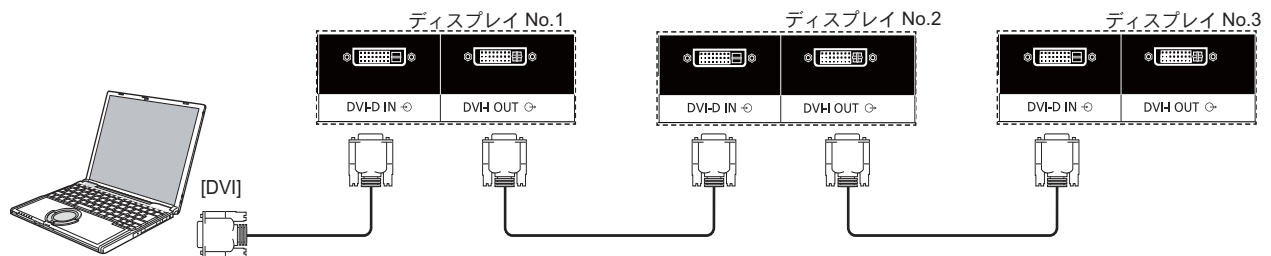
注意：

- RS-232C クロスケーブル(メス)を使用して、コンピューターとディスプレイ、ディスプレイとディスプレイを接続してください。
- ここに示すコンピューターは例示のみを目的としています。
- DVI ケーブルとリモコン用接続ケーブルは付属しています。
- デジチェーンを使用する際は、OSD の「詳細設定 2 メニュー」から「**TILING**」メニューオプションを設定します。(28 ページ参照)
- DVI デジチェーンでは最大 10 台までのディスプレイを接続できますが、ケーブル信号や使用する装置によって、接続されるディスプレイの数が制限されることがあります。
- HDCP は、デジチェーンで最大 8 台の DVI ディスプレイをサポートできます。
- 最大 25 台のディスプレイを RS-232C または IR 接続デジチェーンに接続することができます。

ディスプレイ制御接続 (RS-232C ケーブル)



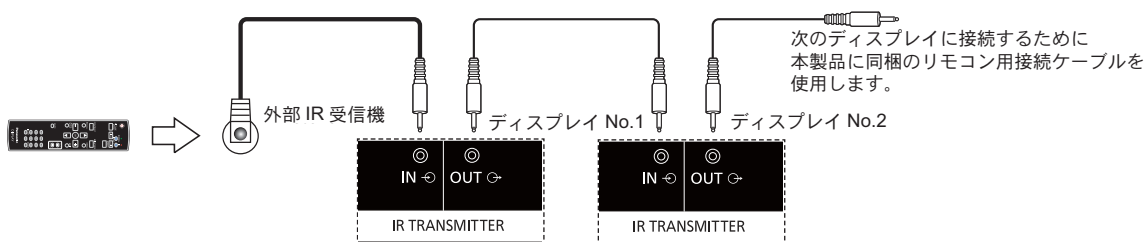
デジタルビデオ接続 (DVI ケーブル)



L 型のコネクタを使用する場合も含めて、確実に接続するため、両端のネジを確実に締めてください。ネジが確実に固定されていない場合、デジチェーンの接続が不安定になる可能性があります。

外部 IR 接続 (オプション)

オプションの「リモコンキット」(TY-RM50VW) を使用すると、デジチェーン接続用のディスプレイ ID を指定することができます。



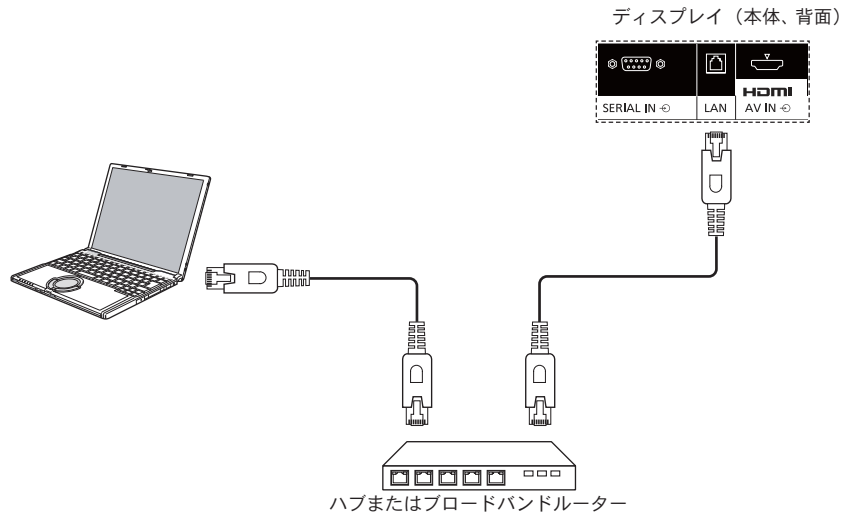
ネットワーク機能の使用

本製品には、コンピューターとネットワーク接続されたディスプレイを制御するネットワーク機能があります。

注意：

- ネットワーク機能を使用するには、各 {LAN SETTING} 設定を行い、必ず {SERIAL CONTROL} を {LAN} に設定してください。（21、30 ページを参照）

ネットワーク接続



注意：

- お使いのブロードバンドルーターまたはハブが 10BASE-T/100BASE-TX をサポートしていることを確認してください。
- 100BASE-TX を用いてデバイスを接続するには、「カテゴリ 5」の LAN ケーブル（付属していません）を使用します。
- 静電気を帯びた手（体）で LAN 端子に触れると、放電によって損傷を与えることがあります。LAN 端子または LAN ケーブルの金属部分には触れないでください。
- 接続方法については、ネットワーク管理者にご相談ください。

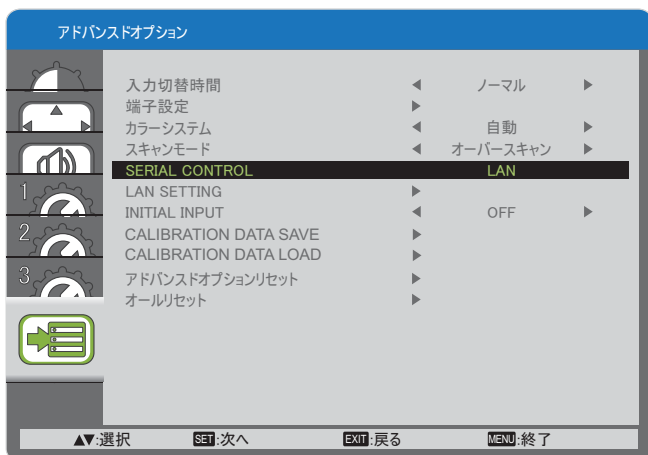
ネットワーク接続向け OSD メニュー設定

ネットワーク設定を続行するには、OSD メニューに入る必要があります。

SERIAL CONTROL:

ネットワーク制御ポートとして {LAN} を選択します。

1. 本製品のコントロールで [MENU] (メニュー) ボタンを押します。
2. [▲] または [▼] ボタンを押して、{アドバンスドオプション} メニューを選択します。
3. [INPUT] (入力) ボタンを押してサブメニューに入ります。
4. サブメニューで [▲] または [▼] ボタンを押して、{SERIAL CONTROL} メニューを選択します。[+] または [-] ボタンを押して、{LAN} を選択します。



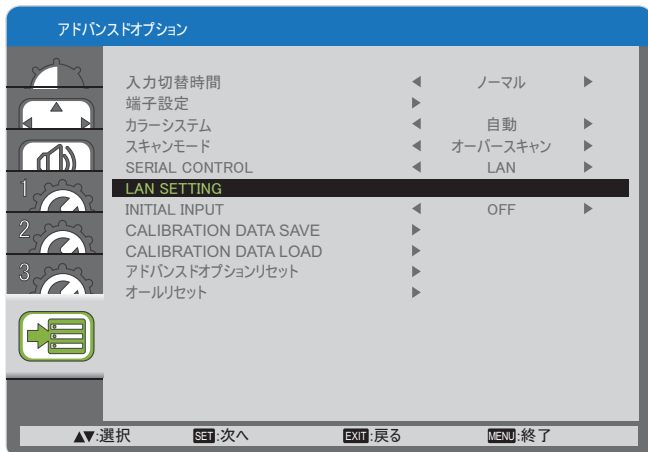
5. [MENU] (メニュー) ボタンを押して前のメニューに戻るか、または [MENU] (メニュー) ボタンを数回押して OSD メニューを終了します。

LAN SETTING:

本製品に {IP ADDRESS}、{SUBNET MASK}、および {DEFAULT GATEWAY} を割り当てます。

注意:

- {LAN SETTING} は、{SERIAL CONTROL} を {LAN} に設定後のみ使用できます。
1. 本製品のコントロールで [MENU] (メニュー) ボタンを押します。
 2. [▲] または [▼] ボタンを押して、{LAN SETTING} メニューを選択します。
 3. [INPUT] (入力) ボタンを押してサブメニューに入ります。



4. サブメニューで [▲] または [▼] ボタンを押して {DHCP CLIENT} メニューを選択します。[+] または [-] ボタンを押して {ON} を選択します。



5. [MENU] (メニュー) ボタンを押して前のメニューに戻るか、または [MENU] (メニュー) ボタンを数回押して OSD メニューを終了します。

DHCP CLIENT

DHCP サーバーにより IP アドレスを自動で取得するには、これを {ON} に設定します。DHCP サーバーを用いない場合はこれを {OFF} に設定します。

IP ADDRESS

DHCP サーバーを利用しない場合には、IP アドレスを入力します。

SUBNET MASK

DHCP サーバーを用いない場合はサブネットマスクを入力します。

DEFAULT GATEWAY

DHCP サーバーを用いない場合はゲートウェイアドレスを入力します。

注意:

- DHCP サーバーを使用するには、必ず DHCP サーバーを起動してください。
- 設定の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ウェブブラウザコントロールの使用

ウェブブラウザを使用すると、本製品の制御が行えます。

注意：

- 「ウェブブラウザコントロール」は現在、Windows IE6、IE7、IE8 でサポートしています。

ウェブブラウザコントロールを使用する前に

ウェブブラウザコントロールを使用するには、本製品とコンピューターの設定が必要です。

ディスプレイ設定

各 {LAN SETTING} 設定を行い、必ず {SERIAL CONTROL} を {LAN} に設定してください（21、30 ページを参照）。

コンピューター設定（Windows オペレーティングシステム用）

プロキシサーバー設定を無効にする

1. [Internet Properties (インターネットプロパティ)] ウィンドウを表示します。
[Start (スタート)] → [Control Panel (コントロールパネル)] → [Network and Internet Connections (ネットワークとインターネット接続)] → [Internet Options (インターネットオプション)] の順にクリックします。
2. [Connections (接続)] タブをクリックし、次に [LAN Settings (LAN 設定)] をクリックします。
3. [Use automatic configuration script (自動構成スクリプトを使用する)] と [Use a proxy server for your LAN (LAN にプロキシサーバーを使用する)] ボックスの選択を解除します。
4. [OK] をクリックします。

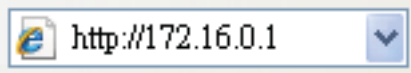
JavaScript を有効にする

1. [Internet Properties (インターネットプロパティ)] ウィンドウを表示します。
[Start (スタート)] → [Control Panel (コントロールパネル)] → [Network and Internet Connections (ネットワークとインターネット接続)] → [Internet Options (インターネットオプション)] の順にクリックします。
2. [Security (セキュリティ)] タブでセキュリティレベルを [Default Level (既定のレベル)] に設定します。または [Custom Level (カスタムレベル)] ボタンから [Active scripting (アクティブスクリプト)] を有効にします。

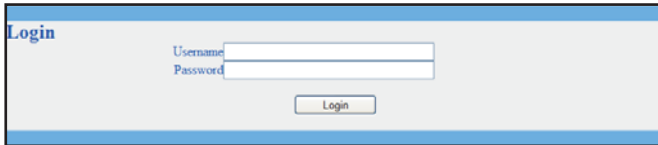
ウェブブラウザからのアクセス

ウェブブラウザを使用して、ウェブブラウザコントロールのトップ画面にアクセスします。

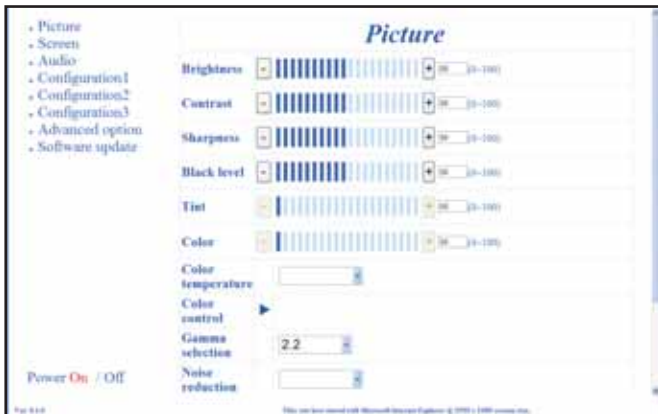
1. ウェブブラウザを起動します。
2. 本製品の **{LAN SETTING}** で設定した **{IP ADDRESS}** から IP アドレスを入力します（21、30 ページを参照）。



3. 認証画面が表示されたら、**{Username (ユーザー名)}** と **{Password (パスワード)}** を入力します。



認証画面



4. [OK] をクリックします。

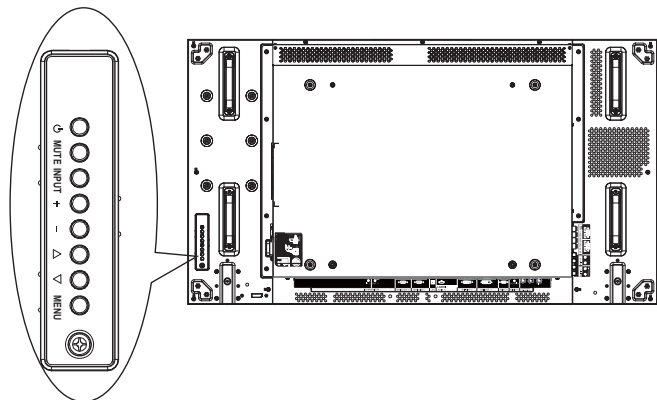
注意：

- デフォルトの **{Username (ユーザー名)}** と **{Password (パスワード)}** は次の通りです。
{Username (ユーザー名)}: admin
{Password (パスワード)}: 0000
- パナソニックおよびその関連企業は、お客様に直接パスワードをお尋ねすることはありません。パナソニックを名乗る第三者に直接尋ねられても、パスワードを教えないでください。

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー

OSD メニューへ入る

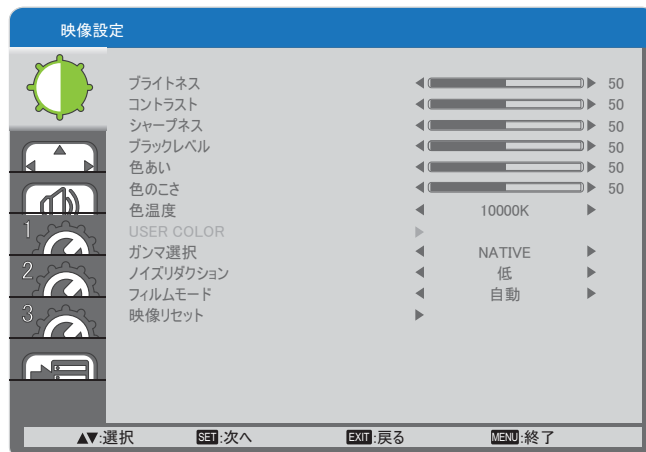
本製品のコントロールボタンを使用する



1. OSD メニューを表示するには、[MENU](メニュー) ボタンを押します。
2. [▲] または [▼] ボタンを押して、調整したい項目を選びます。
3. [INPUT](入力) ボタンを押してサブメニューに入ります。
4. サブメニューで、[▲] または [▼] ボタンを押して項目を切り替え、[+] または [-] ボタンを押して設定を調整します。サブメニューがある場合は、[INPUT](入力) ボタンを押してサブメニューに入ります。
5. [MENU](メニュー) ボタンを押して前のメニューに戻るか、または [MENU](メニュー) ボタンを数回押して OSD メニューを終了します。

OSD メニューの概要

映像設定メニュー



ブライトネス

液晶パネルのバックライトの輝度を変更することにより、画像全体の明るさを調整します。

コントラスト

映像品質をシャープにするよう調整します。映像の黒い部分はより深みを増し、白い部分はより明るくなります。

シャープネス

映像輪郭の鮮明度を調整します。

ブラックレベル

画像の輝度を変更するよう調整します。

色あい

[+] ボタンを押すと、肌色がやや紫色に変わります。[-] ボタンを押すと、肌色がやや緑色に変わります。

注意： この項目は HDMI、DVD/HD、および VIDEO 入力のみで機能します。

色のこさ

画像の色のこさを増減するよう調整します。

注意： この項目は HDMI、DVD/HD、および VIDEO 入力のみで機能します。

色温度

画像の色温度を選択します。低い色温度は赤みを、高い色温度は青みを持ちます。

オプションは次の通りです。{3000K} / {4000K} / {5000K} / {6500K} / {7500K} / {9300K} / {10000K} / {NATIVE} / {USER (ユーザー)}。

USER COLOR

この機能により、R (赤)、G (緑)、B (青) 設定を個別に変化させることで、画像の色調をより詳細に調整できます。

注意： この項目は {色温度} を {USER (ユーザー)} に設定しているときのみ機能します。

ガンマ選択

ガンマは画像の全体的なブライトネスを制御するものです。正しく補正されない画像は、白すぎまたは黒すぎとなります。したがって、ガンマを適切に制御することで、ディスプレイ全体の映像品質に大きな影響を与えることができます。

オプションは次の通りです。{NATIVE} / {2.2} / {2.4} / {S GAMMA}。

ノイズリダクション

画像のノイズを除去するよう調整します。適切なノイズ除去レベルを選択できます。

オプションは次の通りです。{OFF} / {低} / {中} / {高}。

注意： この項目は HDMI、DVD/HD、および VIDEO 入力のみで機能します。

フィルムモード

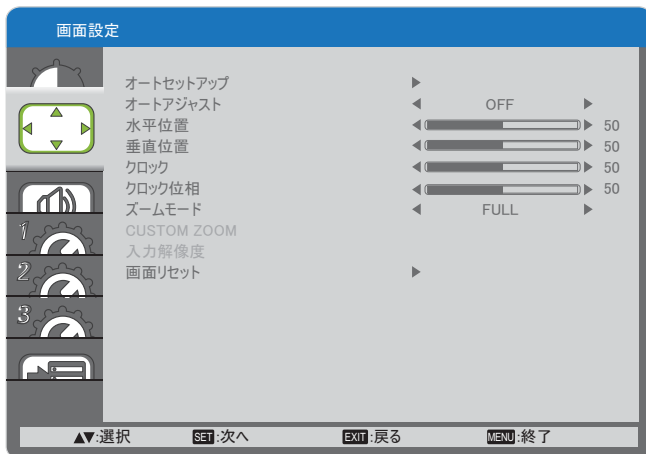
フィルムモードフレーム変換機能の ON/OFF を選択します。

- {自動} - 映画や動画用にフィルムモードフレーム変換を有効にします。24 フレーム / 秒 (24fps) 入力信号形式を DVD ビデオ信号形式に変換します。
- {OFF} - フィルムモードフレーム変換機能を無効にします。このモードは TV 放送やビデオ信号に適しています。

映像リセット

映像メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

画面設定メニュー



オートセットアップ

この機能を使用すると、本製品は自動的に PC 入力画像を最適化します。

注意： この項目は PC 入力のみで機能します。

オートアジャスト

本製品が利用可能な信号ソースを自動で検出し、表示させるように選択します。

- {ON} - 信号が接続されると、本製品が自動的に画像を表示するように設定します。
- {OFF} - 信号が接続されると、手動での選択のみとなります。

水平位置

画像を右に移動するには [+] ボタンを、左に移動するには [-] ボタンを押します。

注意： この項目は PC 入力のみで機能します。

垂直位置

画像を上に移すには [+] ボタンを、下に移動するには [-] ボタンを押します。

注意： この項目は PC 入力のみで機能します。

クロック

画像の幅を調整します。

注意： この項目は PC 入力のみで機能します。

クロック位相

焦点、画像の明瞭さ、および安定度を改善するよう調整します。

注意： この項目は PC 入力のみで機能します。

ズームモード

受信する映像は、16:9 フォーマット (ワイド画面) または 4:3 フォーマット (従来の画面) で送信されます。16:9 映像は、画面の上下に黒い部分が現れます (レターボックス形式)。

この機能は、画面に表示される映像を最適化できるようにします。以下のズームモードが利用できます。

- PC モード：{FULL} / {ノーマル} / {CUSTOM} / {リアル}。
- ビデオモード：{FULL} / {ノーマル} / {CUSTOM} / {リアル}。

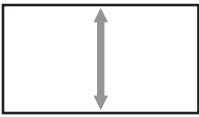


	FULL このモードでは、全画面表示を使用して、16:9 で送信された映像を正しい映像比に戻します。
	ノーマル この映像は 4:3 フォーマットで再現され、映像の両側には黒い部分が表示されます。
	CUSTOM 選択すると Custom Zoom (カスタムズーム) サブメニューでカスタムズーム設定を適用します。
	リアル このモードでは、オリジナルの画像サイズを変えることなく、画面に画素ごとの画像を表示します。

CUSTOM ZOOM

この機能は、表示したい画像に合わせるため、ズーム設定をカスタマイズするのに使用できます。

注意： この項目は {ズームモード} 設定が {CUSTOM} に設定されているときのみ機能します。

	ズーム 画像の縦と横のサイズを同時に拡大します。
	水平ズーム 画像の水平サイズのみを拡大します。

	垂直ズーム 画像の垂直サイズのみを拡大します。
	水平位置 画像の水平位置を左右に移動します。
	垂直位置 画像の垂直位置を上下に移動します。

入力解像度

PC 入力の解像度を設定します。これは、本製品が PC 入力解像度を正しく検出できない場合にのみ必要です。

注意： この項目は **PC** 入力のみで機能します。

オプションは次の通りです。

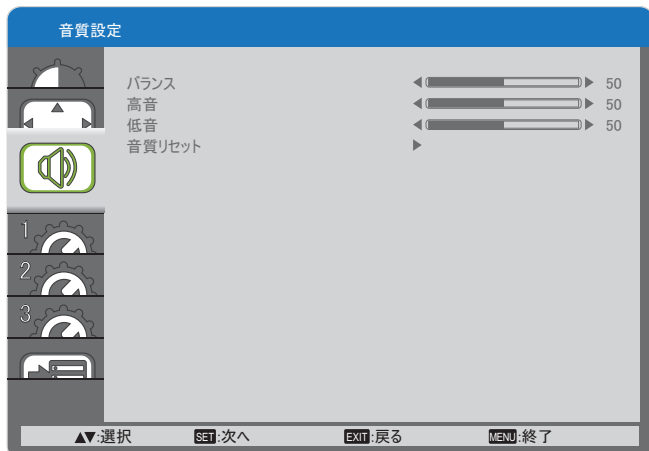
- {1024x768 / 1280x768 / 1360x768 / 1366x768}
- {1400x1050 / 1680x1050}
- {1600x1200 / 1920x1200}
- {自動}: 解像度を自動的に決定します。

選択された設定は、電源を入れ直した後に有効となります。

画面リセット

画面メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

音質設定メニュー



バランス

左右の音声出力のバランスの強弱を調整します。

高音

高音の増減を調整します。

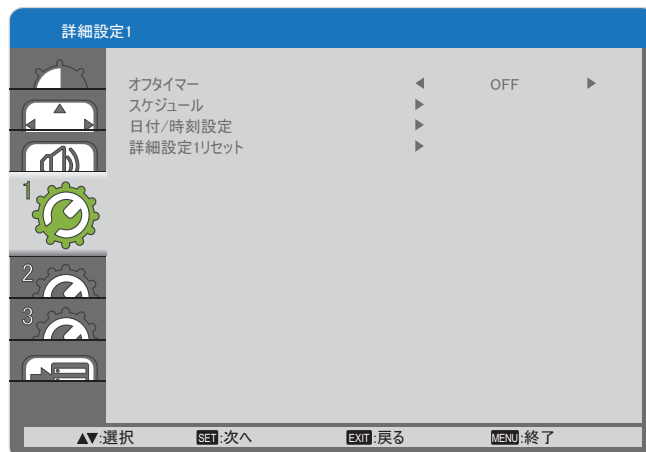
低音

低音の増減を調整します。

音質リセット

音質設定メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

詳細設定 1 メニュー



オフタイマー

指定した時間で本製品が自動でスタンバイモードに入るように設定します。

オプションは次の通りです。{OFF、1 ~ 24 時間} 後。

スケジュール

この機能により、最大 7 つの異なるスケジュールされた時間間隔で本製品を動作させるプログラムができるようになります。

以下の選択が可能です：

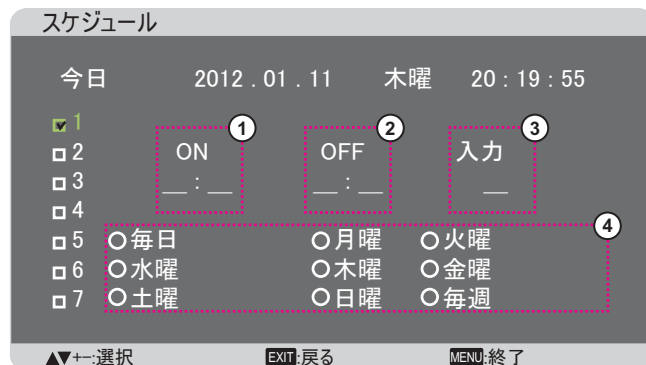
- 本製品を電源 ON、電源 OFF にする時間。
- 本製品をアクティブにする曜日。
- スケジュールされた各稼働期間で、本製品がどの入力ソースを使用するか。

注意： この機能を使用する前に、{日付/時刻設定}メニューで現在の日付/時刻を設定する必要があります。

1. [SET] (決定) ボタンを押してサブメニューに入ります。



2. [▲] または [▼] ボタンを押してスケジュール項目 (1-7 の項目番号) を選択し、次に [SET] (決定) ボタンを押して、項目番号をマークします。



3. **[+]** または **[-]** ボタンを押してスケジュールを選択します。
 - ① 電源 **ON** スケジュール: **[▲]** または **[▼]** ボタンを押して、本製品の電源を **ON** にする時間と分を設定します。
 - ② 電源 **OFF** スケジュール: **[▲]** または **[▼]** ボタンを押してディスプレイの電源を **OFF** にする時間と分を設定します。

この電源 **ON** または電源 **OFF** スケジュールを使用したくない場合は、時間と分の項目で「**_**」(空)のままとおきます。

 - ③ 入力ソースの選択: **[▲]** または **[▼]** ボタンを押して入力ソースを選択します。入力ソースが選択されない場合、入力ソースは前回選択されたものと同じになります。
 - ④ 日付スケジュール: **[+]** ボタンを押して、このスケジュール項目が何曜日に有効になるか選択し、次に **[SET]** (決定) ボタンを押します。

4. さらにスケジュール設定を行うには、**[EXIT]**(終了) ボタンを押して、上記のステップを繰り返します。スケジュール項目の番号の横にあるボックスの中のチェックマークは、選択されたスケジュールが有効であることを示しています。

注意:

- スケジュール項目で **{ 毎日 }** を選択すると、他の毎週のスケジュールよりも優先されます。
- スケジュールが重なった場合、スケジュールされた電源 **ON** 時間がスケジュールされた電源 **OFF** 時間よりも優先されます。
- 同じ時間に2つのスケジュール項目がプログラムされている場合、番号の高いスケジュールが優先されます。例えば、項目 1 と項目 2 の両方が、本製品を朝 7 時に電源 **ON**、夕方 5 時に電源 **OFF** する設定されている場合、スケジュール項目 1 のみが有効となります。

日付 / 時刻設定

本製品の内部時計の日付 / 時刻設定を調整します。

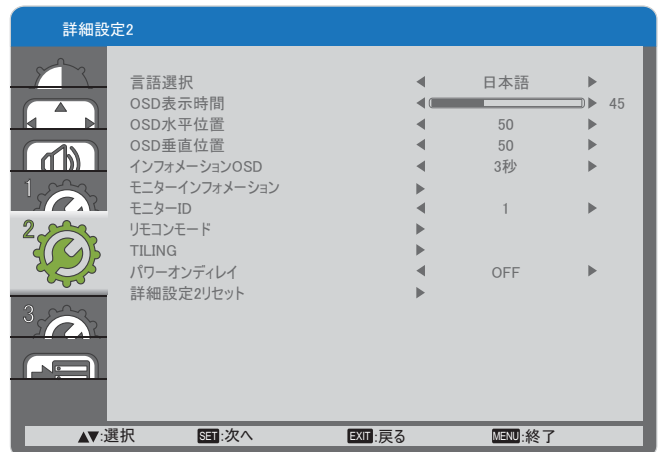


1. **[SET]** (決定) ボタンを押してサブメニューに入ります。
2. **[▲]** または **[▼]** ボタンを押して、**{ 年 }**、**{ 月 }**、**{ 日 }**、**{ 時 }**、**{ 分 }**、および **{ サマータイム }** 設定項目を切り替えます。
3. **[+]** または **[-]** ボタンを押して、**{ サマータイム }** 以外のすべての設定を調節します。

詳細設定 1 リセット

詳細設定 1 メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

詳細設定 2 メニュー



言語選択

OSD メニューで使用する言語を選択します。

オプションは次の通りです。{ **ENGLISH** } / { **DEUTSCH** } / { **FRANÇAIS** } / { **ITALIANO** } / { **ESPAÑOL** } / { **SVENSKA** } / { **АНГЛИЙСКИЙ** } / { **日本語** } / { **中文** }。

OSD 表示時間

OSD メニューおよび” No Signal” が画面に表示される時間を設定します。

オプションは次の通りです。{ **5 ~ 120** } 秒。

OSD 水平位置

OSD メニューの水平位置を調整します。

OSD 垂直位置

OSD メニューの垂直位置を調整します。

インフォメーション OSD

インフォメーション OSD が画面の右上隅に表示される時間を設定します。インフォメーション OSD は入力信号が変更されると表示されます。

インフォメーション OSD は **{OFF}** を選択すると画面に残りません。

オプションは次の通りです。{ **OFF**、**3 ~ 10** 秒 }。

モニターインフォメーション

MODEL NAME と **SERIAL** を含むディスプレイ情報を表示します。

モニター ID

RS232C 接続経由で本製品を制御するための ID 番号を設定します。本製品を複数台接続する場合には、各ディスプレイに一意的 ID を割り当てる必要があります。

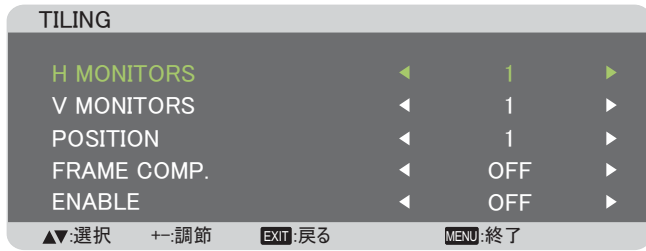
リモコンモード

リモコンユニットの動作モードを選択します。

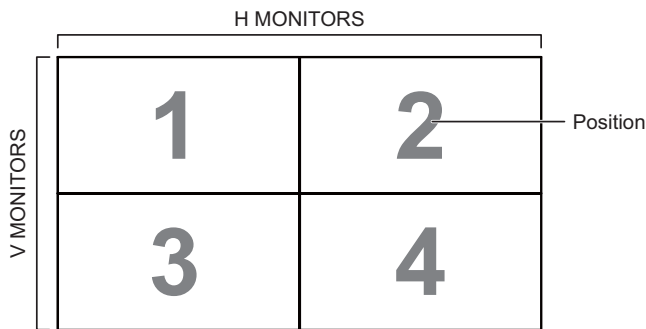
- **{ ノーマル }** - すべてのディスプレイは、リモコンで正常に動作させることができます。
- **{ LOCK }** - 本製品のリモコン機能をロックします。ロック解除するには、リモコンの **[DISPLAY]**(表示) ボタンを 5 秒間長押しします。

TILING

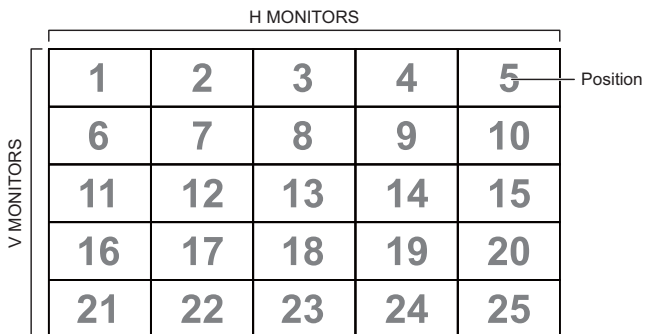
この機能により、最大 **25** 台の本製品から成る単一の大画面マトリックス（ビデオの壁）を作成することができます（最大で横 **5** 列、縦 **5** 列）。



例：2 x 2 画面マトリックス (4 画面)
H MONITORS = 2 ディスプレイ
V MONITORS = 2 ディスプレイ



例：5 x 5 画面マトリックス (25 画面)
H MONITORS = 5 ディスプレイ
V MONITORS = 5 ディスプレイ



- **H MONITORS** - 水平側のディスプレイ数を選択します。
- **V MONITORS** - 垂直側のディスプレイ数を選択します。
- **POSITION** - 画面マトリックス内の本製品の位置を選択します。
- **FRAME COMP.** - フレーム補正機能を ON または OFF にするか選択します。ON にすると、本製品は画像を正確に表示するために、画像を調整して、本製品のベゼル幅を補正します。
- **ENABLE**: TILING 機能の有効化 / 無効化を選択します。有効にすると、本製品は {H MONITORS}、{V MONITORS}、{POSITION}、{FRAME COMP.} の設定を適用します。

TILING の設定は、入力毎に個別に設定することができます。

パワーオンディレイ

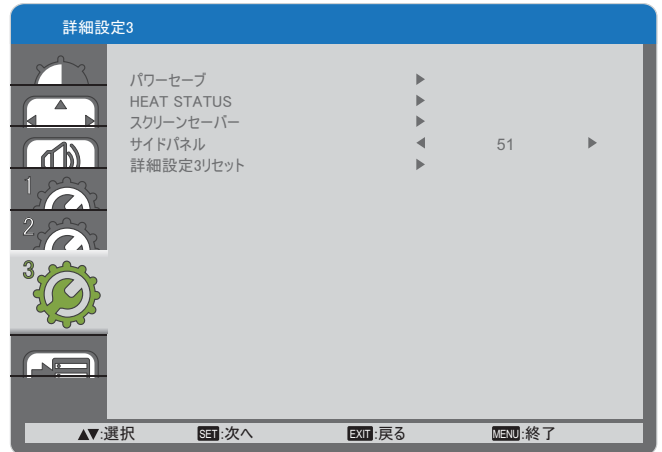
電源が手動または自動で ON になった後、パワーオンモードがアクティブになるまでの遅延時間を選択します。この設定は、起動時メッセージを非表示にする場合、および異なるタイミングで接続された機器を電源 ON にする場合に役立ちます。

オプションは次の通りです。{OFF}、{2 秒}、{4 秒}、{6 秒}、{8 秒}、{10 秒}、{20 秒}、{30 秒}、{40 秒}、{50 秒}。

詳細設定 2 リセット

詳細設定 2 メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

詳細設定 3 メニュー



パワーセーブ

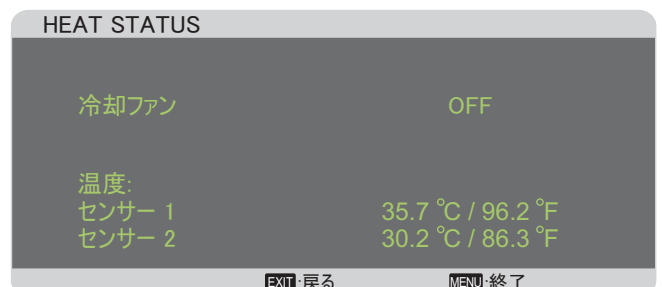
自動的に消費電力を低減するように本製品を設定します。



- **{RGB} - {ON}** を選択すると、約 30 秒後に HDMI グラフィックモード、HDMI、DVI-D または PC 入力から信号が検出されない場合は本製品を「スリープタイマー」モードに入るようにします。
- **{VIDEO} - {ON}** を選択すると、約 30 分後にビデオまたは YPbPr 入力から信号が検出されない場合は本製品を「パワーセーブ」モードに入るようにします。

HEAT STATUS

この機能により、いつでも本製品の温度状態を確認することができます。



スクリーンセーバー

「焼き付き」の危険を低減するためには、パネル保護機能を有効にする選択をしてください。



- {冷却ファン} - 冷却ファンを常に回しておくには {ON} を選択します。{自動} を選択すると、本製品の温度に応じて冷却ファンの電源が ON/OFF になります。

注意：

- デフォルトの {自動} オプションでは、温度が **65 °C (152 °F)** に達すると冷却ファンが回り始め、**62 °C (144 °F)** 以下に冷却されてから **30分** 間回り続けます。
- 温度が **79 °C** に達すると、画面には温度警告メッセージが表示されます。[Power] (電源) キー以外は機能しなくなります。
- 温度が **80 °C (176 °F)** に達すると、本製品の電源は自動的にシャットダウンされます。
- {ブライトネス} - {ON} を選択すると、画像のブライトネスは適切なレベルまで低下し、映像設定メニューのブライトネス設定は利用できなくなります。
- {モーション} - 本製品をわずかに画像サイズを拡大し、四方向 (上、下、左、右) にその位置をずらすには時間間隔 ({10 ~ 900} 秒 / {OFF}) を選択します。

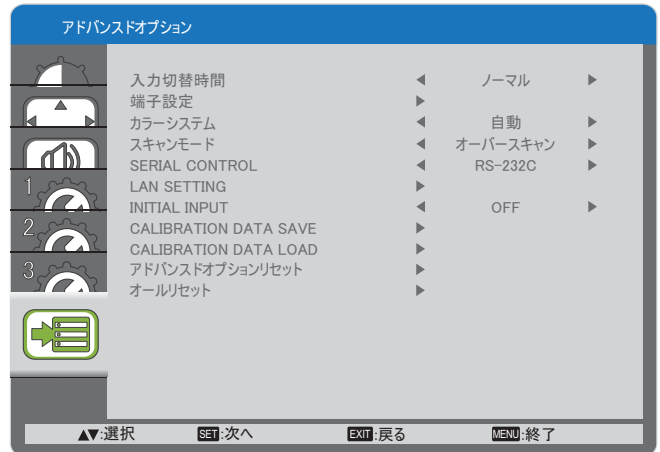
サイドパネル

4:3 画像の両側に表示されるサイドパネルの明るさを調整します。

詳細設定 3 リセット

詳細設定 3 メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

アドバンスドオプションメニュー



入力切替時間

入力切替時間を {ノーマル} または {クイック} に選択します。

注意： {クイック} を選択すると、わずかにノイズが発生します。

端子設定

ソース機器に応じた信号フォーマットに従って、HDMI または DVI 信号を表示するモードを選択します。

- {DVI モード}: DVI-D 信号に使用します。
 - ソース機器が PC の場合は {DVI-PC} を選択します。
 - ソース機器がビデオ機器の場合は {DVI-HD} を選択します。
- {HDMI 信号モード}: HDMI 信号に使用します。
 - R、G、B のそれぞれにおいて、256 階調のうち 16-235 階調を使用する信号を表示する場合は {LIMITED} を選択します。
 - 256 階調すべて (0-255 階調) の信号を表示する場合は、{FULL} を選択します。



カラーシステム

入力ビデオフォーマットに対応するカラーシステムを選択します。

オプションは次の通りです。{自動} / {NTSC} / {PAL} / {SECAM} / {4.43NTSC} / {PAL-60}。

注意： この項目はビデオ入力のみで機能します。

スキャンモード

本製品の画像領域を変更します。

- ・ {オーバースキャン} - 画像を元の約 95% の大きさで表示します。画像を囲む残りの領域はカットされます。
- ・ {アンダースキャン} - 元のサイズで画像を表示します。

注意： この項目は HDMI ビデオタイミング入力のみで機能します。

SERIAL CONTROL

ネットワーク制御ポートを選択します。

オプションは次の通りです。{RS-232C} / {LAN}。

注意： {LAN} が選択されている場合は、ケーブルが接続されていても {RS-232C} は有効になりません。逆の場合も同じです。

LAN SETTING

本製品に {IP ADDRESS}、{SUBNET MASK}、および {DEFAULT GATEWAY} を割り当てます。



- ・ DHCP - DHCP 機能の有効化 / 無効化を選択します。有効にした場合、本製品には IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが自動的に割り当てられます。無効にした場合、以下の値を手動で入力するように指示されます。最後に [SET] (決定) ボタンを押して、選択した値を保存します。

INITIAL INPUT

電源を ON したときに本製品が受像する入力ソースを選択します。

CALIBRATION DATA SAVE

カラーキャリブレーションを実行した後のデータを保存できます。

CALIBRATION DATA LOAD

保存したキャリブレーションデータを読み出すことができます。

注意： 保存 / 呼び出されるデータは、下記のデータが対象です。

- ・ 各色温度 (3000K ~ 10000K) でのホワイトバランス調整用データ
- ・ 映像モード STANDARD のブライトネス値
- ・ ガンマカーブ (2.2、2.4、S GAMMA) のデータ

アドバンスドオプションリセット

アドバンスドオプションメニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

1. [SET] (決定) ボタンを押してサブメニューに入ります。
2. [▲] または [▼] ボタンを押して {する} を選択し、次に [SET] (決定) ボタンを押してリセットします。



オールリセット

OSD メニューの中のすべての設定、{映像設定}、{画面設定}、{音質設定}、{詳細設定 1}、{詳細設定 2}、{詳細設定 3}、{アドバンスドオプション} を工場出荷時の値にリセットします。

1. [SET] (決定) ボタンを押してサブメニューに入ります。
2. [▲] または [▼] ボタンを押して {する} を選択し、次に [SET] (決定) ボタンを押してリセットします。



入力モード

PC 解像度 :

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレートの	ドットクロック	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
VGA	640	480	60 Hz	25.175 MHz	4:3	ビデオグラフィックアレイ
		480	72 Hz	31.5 MHz		
		480	75 Hz	31.5 MHz		
WVGA	720	400	70 Hz	33.75 MHz	16:9	ワイドビデオグラフィックアレイ
SVGA	800	600	60 Hz	40 MHz	4:3	スーパー VGA
		600	75 Hz	49.5 MHz		
XGA	1024	768	60 Hz	65 MHz	4:3	拡張グラフィックアレイ
		768	75 Hz	78.75 MHz		
WXGA	1280	768	60 Hz	79.5 MHz	5:3	ワイド XGA
WXGA	1280	800	60 Hz	79.5 MHz	16:10	ワイド XGA
SXGA	1280	960	60 Hz	108 MHz	4:3	スーパー XGA
SXGA	1280	1024	60 Hz	108 MHz	5:4	スーパー XGA
WXGA	1360	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
WXGA	1366	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
UXGA	1600	1200	60 Hz	162 MHz	4:3	ウルトラ XGA
HD1080	1920	1080	60 Hz	148.5 MHz	16:9	HD1080

SDTV 解像度 :

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレートの	ドットクロック	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
480i	720	480	29.97 Hz	13.5 MHz	4:3	変形 NTSC 標準
480p			59.94 Hz	27 MHz		
576i	720	480	25 Hz	13.5 MHz	4:3	変形 PAL 標準
576p			50 Hz	27 MHz		

HDTV 解像度 :









標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレートの	ドットクロック	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
720p	1280	720	50 Hz	74.25 MHz	16:9	通常は DVB モード
			60 Hz			
1080i	1920	1080	25 Hz	74.25 MHz	16:9	通常は ATSC モード
			30 Hz			
1080p	1920	1080	50 Hz	148.5 MHz	16:9	通常は ATSC モード
			60 Hz			


- PC のテキスト品質は、HD1080 モード (1920 × 1080、60 Hz) で最適です。
- お使いの PC ディスプレイ画面は、メーカー (および Windows の特定のバージョン) により異なって表示されることがあります。
- PC をモニターに接続する情報については、お使いの PC の取扱説明書を確認してください。
- 垂直と水平の周波数選択モードが存在する場合、60 Hz (垂直) と 31.5 KHz (水平) を選択します。場合によって、PC の電源が OFF の場合 (または PC が接続されていない場合) に異常な信号 (筋など) が画面に表示されることがあります。その場合は **[INPUT]** (入力) ボタンを押してビデオモードに入ります。また、PC が接続されていることを確認してください。
- 水平同期信号が RGB モードで不規則に見えるときは、PC の省電力モードまたはケーブル接続を確認してください。
- 本製品の設定表は IBM/VESA 規格に準拠しており、アナログ入力に基づいています。
- DVI サポートモードは PC サポートモードと同じと見なされます。
- 各モードの最適な垂直周波数は 60 Hz です。

修理を依頼される前に

修理を依頼する前に、症状を確認し、下記にある簡単なチェックを行ってください。

症状	想定される原因	対処
映像が表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードが抜けています。 2. 本製品の背面にある主電源スイッチが ON になっていません。 3. 選択された入力が接続されていません。 4. ディスプレイがスタンバイモード中です。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードをコンセントに差し込みます。 2. 電源スイッチが ON であることを確認します。 3. 本製品に信号接続を接続します。
本製品で表示される画像が乱れる、または音声にノイズが聞こえる	周囲の電子機器や蛍光灯が原因です。	干渉が少なくなるような別の場所に本製品を移動させます。
色がおかしい	信号ケーブルが正しく接続されていません。	本製品の背面に信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
映像が異常なパターンで歪んでいる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが正しく接続されていません。 2. 入力信号が本製品の能力を超えています。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。 2. 本製品の範囲を超えていないか、ビデオ信号ソースを確認します。本製品の仕様のセクションで、仕様を確認してください。
入力ソースまたは信号を変更後、映像が正しく表示されません。	映像信号が正しく受信されていない可能性があります。	もう一度、他の入力ソースを選択してから、目的の入力ソースに戻ってください。
表示画像が画面サイズいっぱいに表示されない	ズームモードが正しく設定されていません。	画面設定メニューのズームモードまたはカスタムズーム機能を使用して、微調整します。
音声は聞こえるが、映像が表示されない	ソースの信号ケーブルが正しく接続されていません。	ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。
映像は表示されるが、音が聞こえない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ソースの信号ケーブルが正しく接続されていません。 2. 音量が一番低く設定されています。 3. [MUTE] (ミュート) がオンになっています。 4. 外部スピーカーが接続されていません。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。 2. [+] (音量を上げる) または [-] (音量を下げる) ボタンを押して、音を聞きます。 3. [MUTE] (ミュート) ボタンを使用して、ミュートをオフに切り替えます。 4. 外部スピーカーを接続し、適切なレベルに音量を調節します。
一部の画素が光らない	本製品の一部の画素は点灯しない場合があります。	本製品は超ハイレベルな精密技術で製造されています。しかし、画面の一部に画素欠けが存在する場合があります。これは故障ではありません。
電源を OFF にした後も残像が表示されています。(例: ロゴ、ビデオゲーム、コンピューター画像、4:3 の通常モードで表示された画像を含む静止画像)	静止画像が時間より長く表示されています。	長期間静止画像を表示しないようにしてください。本製品上に永続的な残像が残る原因となるためです。

症状		確認
映像	音声	
 干渉	 ノイズ音	電気製品 車/バイク 蛍光灯
 通常映像	 音声なし	音量 (リモコンでミュート機能が有効でないことを確認します)。
 画像なし	 音声なし	AC コンセントに接続されていない スイッチが入っていない 映像およびブライトネス / 音声設定 (このディスプレイまたはリモコンの電源ボタンを押して、確認してください。)
 画像なし	 通常音	本製品が対応していない信号種または周波数が入力された場合、 入力端子の指示のみが表示されます。
リモコン操作が実行できない。		電池が完全に放電しているかを確認します。放電されていない場合は電池が正しく挿入されているかを確認します。 リモコンセンサーが屋外の光や強い蛍光灯に照らされていないか確認してください。 リモコンは、本製品とともに使用するよう専用に設計されたものが使われているかを確認してください。(本製品は他のリモコンでは操作できません。)
本製品から時々、カチッという音が聞こえる。		映像や音声に問題がない場合、この音はキャビネットが室温の変化によってわずかに収縮した音です。性能などに悪影響はありません。
ズーム機能を使用すると、 映像の上部または下部がカットされる。		画面上で映像の位置を合わせます。
ズーム機能を使用すると、 画面の上部または下部で映像が失われた領域が表示される。		16:9 モードよりも大画面でビデオソフトウェアプログラム (シネマサイズプログラムなど) を使用する場合は、画像とは別の空白の領域が画面の上部と下部に形成されます。
本製品内部から音が聞こえる。		電源を ON にすると、本製品のパネルが駆動する音が聞こえることがあります。これは正常であり、故障ではありません。
部品が非常に熱くなる。		前面パネル、上部および背面パネルの温度が上昇しても、それが性能や品質に問題を引き起こすことはありません。
電源が予期せず OFF になる。		「オフタイマー」または「パワーセーブ」設定を確認してください。それらのいずれかが有効に設定されている可能性があります (26、28 ページ参照)。
この液晶ディスプレイは特殊な画像処理を使用します。したがって、入力信号の種類によって、映像と音声の間にわずかな時間のずれが生じることがあります。しかし、これは故障ではありません。		

症状	確認
画面が表示されるまでに時間がかかる。	本製品は、美しい映像を再現させるため、各種信号をデジタル処理しています。このため、電源を ON にしたとき、入力を切り替えたときには映像が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。
映像の輪郭がチラチラする。	パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがあります。これは正常であり、故障ではありません。
画面上に赤、青、緑、黒の点が存在することがある。	これは液晶パネルの特性であり、問題ではありません。液晶パネルは、素敵な画像内容を表現するために非常に高精密な技術で製造されています。画面上には時々数個の活動していない画素が表れ、赤、青、緑、黒の固定された点が見えることがあります。なお、これは液晶の性能には影響しません。
 画像の焼き付きがある	画像の焼き付きが発生することがあります。静止画像を長時間表示させると、残像が残ることがあります。しかし、これはしばらく時間が経つと消失します。これは故障とは考えられません。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

32 ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間


■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この液晶ディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。
パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** 受付：9 時～ 17 時 30 分 (土・日・祝祭日は受付のみ)
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <http://panasonic.biz/prodisplays/>
ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご 氏 名	
ご 住 所	付近の見取り図、目印など。
電 話 番 号	呼び出しでもけっこうです。
製 品 名・品 番 お 買 い 上 げ 日	お手もとの保証書をご覧ください。
故 障 又 は 異 常 の 内 容	詳しくお願いします。
訪 問 ご 希 望 日	

仕様

ディスプレイ：

項目	仕様
画面サイズ	液晶 47V 型
有効画面サイズ	46.96 インチ (1192.87 mm) 対角
縦横比	16:9
画素数	1920 (水平) x 1080 (垂直)
ピクセルピッチ	0.5415 (水平) x 0.5415 (垂直) [mm]
表示可能色	10 ビット (D)、10 億 6 千万色
ブライトネス (標準)	500 cd/m ²
コントラスト比 (標準)	1400:1
視野角	上 89/ 下 89/ 左 89/ 右 89 (標準) @ CR > 10
パネル寿命	60,000 時間 (標準)
表面処理	防眩性

入 / 出力端子：

項目	仕様
スピーカー出力	外部スピーカー 10 W + 10 W (8 Ω)
音声入力	RCA ジャック x 2 3.5 mm ステレオ x 1 0.5 V [rms] (通常) / 2 チャンネル (L+R)
音声出力	RCA ジャック x 2 0.5 V [rms] (通常) / 2 チャンネル (L+R)
RS232C	D-Sub ジャック x 2 (9 ピン) TXD + RXD (1:1)
RJ-45	RJ-45 ジャック x 1 (8 ピン) 10/100 LAN ポート
HDMI 入力	HDMI ジャック x 1 (タイプ A) (18 ピン) ビデオ : 480i、480p、720p、1080i、1080p 音声 : 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz/2 チャンネル (L+R) LPCM のみサポート
DVI-D 入力	DVI-D ジャック 最大 : 1920 x 1080 / 60Hz (WUXGA)
DVI-I 出力	DVI-I ジャック DVI-D 入力からパススルー
PC 入力	D-Sub ジャック x 1 (15 ピン) アナログ RGB: 0.7 V [p-p] (75 Ω)、H/CS/V: TTL (2.2 kΩ)、SOG: 1 V [p-p] (75 Ω) 最大 : 1920 x 1080 / 60 Hz (WUXGA)
コンポーネント入力	BNC ジャック x 3 Y: 1 V [p-p] (75 Ω)、Pb: 0.7 V [p-p] (75 Ω)、Pr: 0.7 V [p-p] (75 Ω) 最大 : 480i、576i、480p、576p、720p、1080i、1080p
コンポジット入力	BNC ジャック x 1 (コンポーネント Y と共有) ビデオ : 1 V [p-p] (75 Ω) 最大 : 480i、576i

一般：

項目	仕様
電源	100 V AC、50/60 Hz
消費電力 (最大)	160 W
消費電力 (スタンバイ)	0.5 W 以下
消費電力 (省電力)	2 W 以下
寸法 [幅 x 高さ x 奥行き]	1044.88 x 590 x 108.8 mm
重量	25 kg

動作条件：

項目	仕様
温度	0 ~ 40 °C
湿度	10 ~ 90 % RH (結露なし)
高度	0 ~ 2,000 m

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品番	
	販売店名	お客様ご相談窓口		
		☎ () -	☎ () -	

パナソニック株式会社

AVC ネットワークス社

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 1 5 号

© Panasonic Corporation 2014